



けやきっ子

六栄小学校だより
第2号
令和6年4月18日
文責：久保田 真二

学校教育目標：瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～

令和6年度も素晴らしい1年になる！

2年生～6年生の順調なスタート!そして、入学式での立派な姿の1年生!

4月11日に令和6年度が始まりました。始業式での子どもたちの輝く瞳、教室で担任の先生の話をしっかり聞く子どもたち、入学式の準備をてきぱきと取り組む高学年、子どもたちの希望とやる気を随所に感じることができました。また、翌日12日に入学式がありました。今年の新入児童は37名です。緊張した面持ちで体育館に入場してきた1年生でしたが、担任の先生方が名前を呼ぶと「はい」と元気な声で返事をし、後ろを向いてしっかりと顔を見せることができました。また、お話の聞き方もとても上手で感心しました。

228名の子どもたちを見て、「令和6年度も素晴らしい六栄小学校になる！」そう思っています。



～ 始業式に子どもたちに伝えたこと ～

自分で考え、自分から行動できるように

始業式で南アメリカの先住民に伝わる「ハチドリのはとすく」という話をしました。そして、自分で考え、自分で行動することの大切さを子どもたちに伝えました。「ハチドリのはとすく」のお話を紹介します。

「ハチドリのはとすく」

森が火事になって燃えていました。森の生き物たちは、われ先にと逃げていきました。でも、クリキンディという名前のハチドリだけは、いったりきたり、くちばしで水のはとすくを一滴ずつ運んでは、火の上に落としていきます。動物たちがそれを見て、「そんなことをして、いったい何になるんだ。」と言って笑います。クリキンディは、こう答えました。「私は、私にできることをしているだけ。」

クリキンディという名のハチドリは、森の火事を消すために、周りから笑われても、何を言われても、火事を消すために、自分の意志で一滴の水を運び続けます。クリキンディのように、夢や目標を持ち自分にできることを自分で考えて行動することは素晴らしいことです。

ところで、六栄小の子どもたちは、それぞれに夢や目標をもって新学期を迎えてくれたと思います。それぞれの夢や目標をかなえるために、今できることを自分で考え、行動することのできる六栄小の子どもが一人でも多く育ってくれるよう、職員一同精一杯取り組んでまいります。各家庭におかれましても、子どもたちが自分で考え、行動できますようご支援とご指導をお願いいたします。



毎月17日は「ながす交通安全の日」です。子どもたちの登校を温かく見守っていただける地域の方、忙しい中に交通指導に立たれる保護者の方、本当に感謝です。ありがとうございます。

